

施策名：グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成

事業名	担当課・室名	ページ
グローバル人材育成推進事業	高校教育課	1 / 1

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成30年度)

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	グローバル人材育成推進事業	事業期間	平成28年度～令和2年度	政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	
				施策区分	グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	高校教育課	評価者	高校教育課長 久保田 圭二

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	グローバル化の進展に伴い、世界に通用する「グローバル人材」の育成が求められているが、県内の児童生徒は、海外への挑戦意欲のほか、留学や海外への進学実績が低い状況にある。また、小・中・高等学校での国際交流活動の頻度や継続性等にも課題があり、日本人とは異なる価値観を持った者と交流する機会の充実が求められている。	事業の目的	「大分県グローバル人材育成推進プラン」に基づき、世界に挑戦し、多様な価値観を持ったものと協働する力の基盤を育成するため、グローバルリーダー育成に向けたプログラムや海外留学、理数系の人材育成につながる活動等の機会を学校の枠を超えて提供する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①グローバルリーダー育成塾 県内高校生を対象に、年間4回実施(参加者931人)	①	7,211	総コスト	23,947	19,661	24,782
②海外留学・国際交流支援 県内中高生を対象に、年間2回「留学フェア」を実施(参加者268人)	②	3,483	事業費	15,947	11,661	16,782
③海外高校等交流支援 県内高校生を対象に、短期・長期留学支援金を、合計27人に交付	③	1,347	(うち一般財源)	10,042	5,646	9,852
④イングリッシュ・デイ・キャンプ 県立高校10校で、海外の高校等とのICTを活用した遠隔交流Web会議を実施	④	1,060	人件費	8,000	8,000	8,000
④イングリッシュ・デイ・キャンプ 小中学生を対象に、県内2カ所で開催(参加者73人)	計	13,101	職員数(人)	0.80	0.80	0.80

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(2年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(2年度)	評価割合	評価
	グローバルリーダー育成塾参加生徒の満足度(各回平均)(%)	目標値	90.0	90.0	92.0	94.0		55%	Web会議実施校数(校)	目標値	5	8	9		
	実績値	99.2	96.0					実績値	6	10					
	達成率	110.2%	106.7%					達成率	120.0%	125.0%					
中学校・高校留学フェアの平均参加人数(人)	目標値	125	130	130	130	27%	小中学校イングリッシュ・デイ・キャンプの参加人数(人)	目標値		80	120	140	8%		
	実績値	118	134					実績値		73					
	達成率	94.4%	103.1%					達成率		91.3%					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(2年度)	評価	事業の成果
グローバル人材として活躍するための素地を備えた生徒の割合(%)	目標値	44.0	46.0	50.0	52.0	a	県主催行事に参加する児童・生徒の増加により、「グローバル人材として活躍するための素地を備えた生徒の割合」が前年度より0.7ポイント上昇した。 ※グローバル人材として活躍するための素地を備えた生徒とは、「挑戦意欲と責任感・使命感」「多様性を受け入れ協働する力」「大分県や日本への深い理解」「知識・教養に基づき論理的に考え伝える力」「英語力(語学力)」の5つの力の「総合力」を備えた生徒のことをいう。	
	実績値	48.1	50.6					
	達成率	109.3%	110.0%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・児童生徒が継続的に国際交流できる環境の構築	今後の事業方針 ・県主催行事と各学校における取組の連携強化 ・国際交流サポーター(県内在住の留学生)及び海外校等の活用促進 ・高校生の海外留学を引き続き支援				